新人賞



「かぞくのまんなか」　笹谷槙哉　あさひかわ写真館（北海道）

■選評

子供たちのわちゃわちゃ感がとても楽しく、その中で澄まし顔のワンちゃんがユーモラスな雰囲気を作り、兄妹の一体感を表現した素晴らしい子供写真です。3人と1匹の視線と表情を的確にまとめ上げ、“この一瞬”を逃さず捉えているので、より一体感が写し出されています。一部分に大きく丸い光を当て、真正面から被写体を撮影する、報道写真のような手法がうまくハマった好例といえるでしょう。そのため、見る者に「決定的瞬間を捉えている」と認識させる画面になっています。また、人間の目の形と違うワンちゃんの目にキャッチライトを上手に入れている点も良かったです。ライティング技術を磨いていくと、さらに優れた作品を生み出せると思います。

■喜びの声

初めてコンテストに応募し、まさかこのような賞をいただけるとは思っていませんでした。心より感謝申し上げます。

今回の受賞で何よりうれしいのは、私自身の喜び以上に、被写体となっていただいたご家族や今まで撮影させていただいたお客様に、「この写真館に依頼してよかった」と、それ以上の価値を感じていただけることです。

当写真館では、ポーズや作り笑いを求めず、自然な会話から生まれる瞬間を大切にしています。今回の撮影でも、一度終了した後に「実は犬も飼っていて」とご家族が犬を連れてきてくださり、急きょ2回目の撮影が始まりました。動物ゆえにおとなしく待ってはくれませんでしたが、かえってご兄弟とワンちゃんが普段通りにじゃれ合う、最高に愛おしい瞬間を切り取ることができました。

店舗ではなく出張先でのお写真が、こうして評価していただけたことは大きな自信となりました。今後はこの受賞を励みに、従来の写真館の固定観念を払拭し、家族写真の本当の楽しさや魅力をより多くの方に届けていきたいと思います。

（制作ラボ：ピーズラボ旭川）



新人賞



「はたちの私」　磯目真衣　㈲イソメ写真館（福島）

■選評

ローズ色のドレスの広がりをうまく生かした画面構成で、二十歳の女性を印象的に描き出した成人写真です。俯瞰の構図で全体的なカラーバランスが良く、1枚の現代絵画の中に被写体をポンと入れているように感じさせる絵作り力が高い評価を得ています。小物づかいのコーディネートも秀逸で、赤や白など画面に違和感なく溶け込むような演出も相まって、世界観を生み出しているところにも好感が持てました。一つアドバイスとして、真ん中に被写体を置くと絵が止まって見えがちなので、少し配置を変えて動きを与えるのも面白いかもしれません。お客様の「こんな写真を撮ってほしい！」という要望をかなえられる、期待のカメラマンだと思います。

■喜びの声



このたびは栄誉ある富士フイルム営業写真コンテストにて新人賞をいただき誠にありがとうございます。

写真館という世界に飛び込んで今年で10年。自分でも予期しない形でカメラマンという立場を担うことになって3年。まさかこんな日が来るとは夢にも思っていませんでした。

私の夢は「日本一のフォトスタジオプランナー」です。シャッターを押すだけが仕事ではない、この撮影の日を迎えるにあたってどんな思いを抱えて、どんな自分になりたいと願ったのかを共有し実現する。そんなお客様と一緒に作り上げるクリエイティブな世界で仕事を続けることが私の夢です。

今回受賞した作品のお客様も、撮影前に「自分はこんな世界観が好きなんだ」とご自身のお好みをお話しくださり、それを元にヘアスタイルの提案から撮影までをさせていただきました。初めてお会いした時から私の中にあった「お姫様」というイメージとお客様のお好みを融合させて、華やかなドレスの中でも圧倒的な美しさでたたずむ女性。そんな世界観の1枚を目指しました。

今回のこの受賞は、私にとってとても大きな一歩となりました。いつも支えてくださる先輩方、家族、スタッフに感謝の気持ちを忘れずにまた次のステージへ進んでいきたいと思っております。

重ねてにはなりますが、このたびは本当にありがとうございました。

（制作ラボ：㈱プロカラーラボ　イーストラボ）

新人賞



「つくえのしたはぼくらのひみつきち」　加藤 綾　イナダスタヂオ（茨城）

■選評

子供たちの表情がとても面白くて印象的、一人ひとりの個性までも写し出されているような、見る者の気持ちを明るく楽しくさせてくれる作品です。「子供って狭いところが好きだよね」と思い出されますし、“狭いところに入りたがる”子供の心理を生かして上手に絵作りをしています。また、シンプルな構図とローアングルだからこそ、良い表情を効果的に引き立てている点も高く評価されました。経験を積むとかえって「暗くなるなあ、ライティングはどうしよう」と考えがちですが、頭だけで考えず思い切ってシャッターを切っているところに若さのエネルギーを感じます。この感性そのままに技術を磨いていけば、より素晴らしい作品が生み出されるでしょう。

■喜びの声

このたびは栄誉ある富士フイルム営業写真コンテストにおいて新人賞をいただき、誠にありがとうございます。そして初めての上位入賞となり大変うれしく思っております。

このたびの受賞は、日頃より大変お世話になっている保護者の皆様、そして可愛い笑顔を見せてくれた園児さんたちのおかげです。撮影させていただいたのは、卒園アルバムなどの撮影でお伺いしている「学校法人山の尾学園 認定こども園 十王幼稚園・保育園」の園児たちでした。幼稚園には日頃より大変お世話になっており感謝申し上げます。日頃の行事撮影などを通して築いてきた関係性があったからこそ、子どもたちの飾らない自然な表情を引き出すことができたのだと思います。

今回受賞した作品は、卒園・卒業の節目に向けた「友フォト」の撮影の中で生まれた１枚です。通園バッグで顔を隠すポーズをお願いした際、子どもたちが机の下から楽しそうにのぞきき込む姿があまりにも愛らしく、思わずシャッターを切りました。「数年後、数十年後に見返したとき『みんなで机の下をのぞいたね』と笑顔で語り合えるような、かけがえのない思い出の１ページにしてほしい」そんな願いを込めて仕上げた作品です。子どもたちの何気ない日常の一瞬こそが宝物なのだと、改めて教えられました。

撮影にご協力いただいた保護者の皆様に、深く感謝申し上げます。また、未熟な私を日々温かく指導し支えてくださる代表およびスタッフの皆様、本当にありがとうございます。今後も多くのお客様に感動と喜びを届けられるよう、精一杯まい進してまいります。

（制作ラボ：㈱プロカラーラボ　イーストラボ）



新人賞



「秋麗 小さい恋人」　辻岡菜穂　Photo studio mini（静岡）

■選評

地元の名所・小國神社の「森山焼の橋」で撮影され、母子２人だけの世界観が浮き上がって見える七五三写真の良作です。赤焼が得意な森山焼のかけらを貼り付けた欄干はカラフルで、つい「画面がうるさくなってしまう」と考えがちですが、あえて望遠レンズを使い、逆光を生かした光の演出がとても良い結果をもたらしています。ポップな背景の中に一つの世界観を表現した、新鮮な感覚の七五三写真だと思いました。技術力が伴ってくるとカラフルな背景を避けてしまうなど、引き算で写真を作ろうとしますが、この作品は小さな工夫を重ねてストレートに挑んでいる点が高評価につながっています。また新しい表現を見せてほしい、期待の新人です。

■喜びの声

このたびは、歴史ある富士フイルム営業写真コンテストにおいて、新人賞をいただき、うれしく、光栄に思っております。私は20代の頃からカメラマンとして写真の仕事に携わり、結婚、出産、育児を経験しながら撮影を続けてきました。母になってからは仕事と子育ての両立に悩み、子どもが小さかった頃には、背中におんぶをしながら撮影したこともあります。大好きな写真の仕事を辞めようかと迷った時期もありましたが、お客様からいただく「ありがとう」という言葉を励みに、今日まで続けてくることができました。母になったことで仕事が思うようにできないこともありましたが、一方で、子どもの成長の尊さや、家族の愛情をより深く感じられるようになりました。母になったことで生まれた母性は、今では私の写真を支える大きな力になっていると感じています。今回受賞した作品のご家族とは、お姉ちゃんが3歳の七五三の頃からのお付き合いです。当時赤ちゃんだった今回の主役の男の子が、成長し、凛々しい袴姿でお母様の隣に立つ姿を見て、私も親戚のような、ご家族の一員のような思いでシャッターを切りました。今回の受賞は、撮影を任せてくださったお客様、そして支えてくれた家族と一緒にいただいた賞だと思っています。これからも学び続け、ご家族の大切な節目と成長に寄り添いながら、何年後に見返してもその日の幸せがよみがえるような、優しい写真を撮り続けていきたいと思います。

（制作ラボ：㈱山下商会）



新人賞



「眼差し」　合田美結　カジュアルフォトスタジオ home...（香川）

■選評

パステルブルーの背景にふんわりした光が溶け込む、シンプルな画面構成でありながら、この子の印象的な瞳に引き込まれそうになる、魅力的な七五三写真です。柔らかなライティングと浅い被写界深度を効果的に用いて、生き生きした子供の瞳に、見る者の視線を自然に導く構成力が高評価となりました。「3」という小物が年齢と七五三を表現しつつ、カメラマンの遊び心も感じさせるかわいらしい演出になっています。被写体の見せ場をストレートに画面に落とし込んでいるので、つい“キュンッ”としてしまう１枚です。さらに影の使い方を磨いていくと、より人の心をときめかせる作品を生み出せると思います。印象的な絵作りができる期待の作家です。

■喜びの声

このたびは、このような素晴らしい賞をいただき、本当にうれしく思います。

今回の写真は七五三を迎えた３歳のお子様をアップで撮影し、その隣に「３歳」のブロックを置いた一枚です。

七五三という大切な節目の記念写真だからこそ、ただきれいに撮るだけではなく、「今が３歳である」ということが写真を見た時に一目で伝わるようにしたいと思い、この構図にしました。３歳という年齢は、まだ幼さが残っている一方で、少しずつ成長していく姿も感じられる、とても特別な時期だと思います。表情や仕草、顔つきなど、その瞬間にしか残せないものを写真に収めることを大切にしました。特にアップで撮影することで、その子らしい表情やかわいらしさをより感じてもらえる写真にしたいと思いました。

今回この作品を選んでいただけたことで、自分が大切にしている「その瞬間を残す」という思いが伝わったように感じ、とてもうれしく思っています。

これからも、何年後に見返しても、その時の思い出や成長を感じられるような写真を撮れるように、一枚一枚を大切にしていきたいです。

今回の受賞を励みに、これからも写真を楽しみながら、心に残る作品を撮り続けていきたいと思います。

（制作ラボ:富士フイルムイメージングシステムズ㈱）

